

深呼吸は、肌でする。 アペックス マスク 誕生

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、社長：及川 美紀）は、ポーラのパーソナライズドサービスブランド「APEX（アペックス）」より、とくに外部環境の影響から、ゴワつき、かさつきなど様々な肌悩みを抱える方へ、塗って寝るだけの夜用クリームマスクが、つるんとふっくらした肌を目指す『アペックス マスク 921』（54g ¥11,000（税抜 ¥10,000））を2021年9月1日に発売します。

「アペックス」は、1989年の誕生以来30年以上にわたって、約1,910万件*1の肌データを蓄積し、一人ひとりの肌を見つめてきました。今の肌状態を「コンディション」、今も未来も理想の肌を目指すために高め続けたい力を「ポテンシャル」と定め、これらを知るための独自の肌分析技術と一人ひとりに合わせたプロダクトで未来の肌までも見据えたパーソナライズドサービスを提供しています。

そして今回、肌のビッグデータ解析から新たに、ポテンシャルスコアが低い方は多くの肌悩みを感じている方が多いことが分かりました。また、肌細胞内のミトコンドリアで十分な酸素がとりこまれているかどうか、肌の呼吸に着目しました。

『アペックス マスク 921』は、新たにつるんとふっくらした肌をサポートする保湿成分「ホップエキスMP*2」を配合した他、肌のハリ感をサポートする保湿成分「シモツケソウエキス*3」、「マコンブエキス*4」、「ショウキョウチンキエキス*5」、「セイヨウニワトコエキス*6」、「セイヨウハッカ葉エキス*7」、角層の保護をサポートするポーラオリジナル保湿成分「バイタルポリマー*8」を配合しました。

また、つるんとふっくらした肌に着目した温室ベール処方設計を採用。肌にじゅわっとなじむ「モイストベルベットオイル*9」、保湿成分にフタをする「ソリッドオイル*10」、夜用マスクに嬉しいつるつる膜「ウォータリングポリマー*11」を配合しました。

全国のポーラ ビューティーディレクター、コスメ&エステショップ「ポーラ ザ ビューティー」約640店舗を含む約3800店のポーラショップ、旗艦店「ポーラ ギンザ」、にてお取り扱いします。（一部、お取り扱いのない店舗がございます。）



2021年9月1日発売

アペックス マスク 921

54g ¥11,000（税抜 ¥10,000）

*1：2021年1月現在 *2：ホップエキス *3：セイヨウナツユキソウ花エキス *4：マコンブエキス *5：ショウガ根エキス *6：セイヨウニワトコ花エキス *7：セイヨウハッカ葉エキス *8：ポリメタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン *9：ダイマージリノール酸ダイマージリノレイル、トリポリヒドロキシステアリン酸ジペンタエリスリチル *10：パルミチン酸セチル *11：アクリル酸Naグラフトデンブ

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドクリエイティブ部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

APEX

深呼吸は、肌でする。

『アペックス マスク』 誕生

アペックスは、1989年の誕生以来30年以上にわたって、約1,910万件※の肌データを蓄積し、一人ひとりの肌を見つめてきました。

今の肌状態を「コンディション」、今も未来も理想の肌を目指すために高め続けたい力を「ポテンシャル」と定め、これらを知るための独自の肌分析技術と一人ひとりに合わせたプロダクトで未来の肌までも見据えたパーソナライズドサービスを提供しています。

そして今回、肌のビッグデータ解析から新たに、ポテンシャルスコアが低い方は多くの肌悩みを感じている方が多いことが分かりました。また、肌細胞内のミトコンドリアで十分な酸素がとりこまれているかどうか、肌の呼吸に着目しました。

とくに外部環境の影響から、ゴワつき、かさつきなど様々な肌悩みを抱える方へ、塗って寝るだけの夜用クリームマスクが、つるんとふっくらした肌を目指します。



2021年9月1日発売

アペックス マスク 921

54g ¥11,000 (税抜 ¥10,000)

デザイン

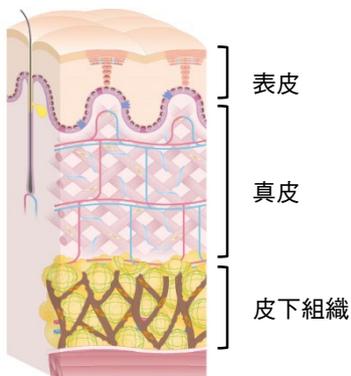
アペックスのデザインコンセプトは「Sense of Wonder」。お客さまが会える世界がより広がるという思いを込め、新たな「森羅万象」をモチーフにビジュアル化しました。

※：2021年1月時点

POLA

今も未来も「肌ゆらぎのないふっくらと透明感のある肌」のための
コンディションとポテンシャル

アベックスは今も未来も、「肌ゆらぎのないふっくらと透明感のある肌」を目指します。今の肌状態のことを「コンディション」、今も未来も理想の肌を目指すために高め続けたい肌の力を「ポテンシャル」と定め、これらを「コンディション分析」「ポテンシャル分析」というアベックス独自の肌分析で知ることができます。



【ポテンシャル分析で推測できること】

	表皮	真皮	皮下組織
内容	うるおいを保ち、透明感ある角層を生み出す可能性がどの程度あるかを推測	ハリや弾力ある真皮を生み出す可能性がどの程度あるかを推測	クッション性のある皮下組織を維持する可能性がどの程度あるかを推測

ポテンシャル分析のスコアが低い方は、肌悩みを多く感じている

今も未来も自分らしい肌を目指すためのポテンシャルをさらに高めるカギを見つけるべく、アベックスの肌データを解析したところ、ポテンシャル分析のスコアが低い方は、さまざまな肌悩みを感じている人が多いことがわかりました。



ある時から急に肌が荒れだして治りも遅くなった。いつもと肌の調子が違うと思うことが増え、症状も様々です。



もっと積極的にケアをして、肌を整えたい。そのためのケアを探しています。

新発見

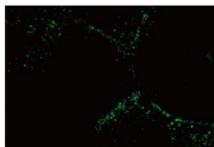
未来のために高め続けたい肌の力「ポテンシャル」と
肌悩み実感との関連性を発見

肌三層のポテンシャル分析のスコアと肌悩み実感、コンディションの状態には関連性があることがわかりました。※1

表皮ポテンシャル
(タイトジャンクション※2)

表皮ポテンシャルが低い状態とは、

- 表皮の酸素量が低下している。
- タイトジャンクションがくずれ、細胞の周りにまばらに存在。
- 細胞のすき間から水分が流出しやすくなる。
- 細胞間脂質が減少しやすくなる。



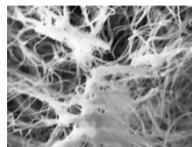
緑：タイトジャンクション

乾燥、ゆらぎに悩みやすい

真皮ポテンシャル
(コラーゲン線維)

真皮ポテンシャルが低い状態とは、

- 真皮の酸素量が低下している。
- コラーゲン線維がところどころ絡まったり、重なり合い、よじれてしまっている。



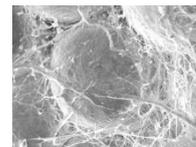
白い線維状に見えるのがコラーゲン線維

ハリ、くすみに悩みやすい

皮下組織ポテンシャル
(メッシュワーク構造※3)

皮下組織ポテンシャルが低い状態とは、

- 皮下組織の酸素量が低下している。
- 太さのばらついた線維(メッシュワーク構造)が不均一に脂肪細胞を覆っている。
- クッション性が低下した状態。



球状の脂肪細胞の周りにある、白い繊維状のものがメッシュワーク構造

毛穴、たるみに悩みやすい

※1：肌ビッグデータからみられる大きな傾向のため、お客様のスコア結果とこの傾向が一致しない場合があります。

※2：表皮細胞の間に存在し、細胞間接着装置として良い角層を育むために重要な役割を担っていることが知られています。

※3：コラーゲンを主成分とし、脂肪細胞の周りをネット状に取り囲む線維構造。これを「メッシュワーク構造」と名づけました。

新発見

未来のために高め続けたい肌の力「ポテンシャル」への影響は
外部環境や生活習慣など、肌三層で異なっている

肌三層のポテンシャルの状態は、外部環境、生活習慣に関連性があることがわかりました。

	表皮 ポテンシャル 	真皮 ポテンシャル 	皮下組織 ポテンシャル 
外部環境 (季節特有の気象要素) の影響 ^{※1}	影響あり		影響が少ない
生活習慣の影響 ^{※2}	影響あり 特に喫煙	影響あり 特に、紫外線によくあたる	特に影響あり 喫煙、飲酒、紫外線によくあたる

※1：気温と湿度（水蒸気密度）やUV（日照時間）など

※2：アベックスカウンセリング項目（ストレス、睡眠不足、バランスの悪い・不規則な食事、紫外線によくあたる、冷暖房によくあたる、喫煙、飲酒、運動不足、PC・スマホをよく見る）の中から、紫外線によくあたる、喫煙、飲酒の3項目において影響があるとわかりました。

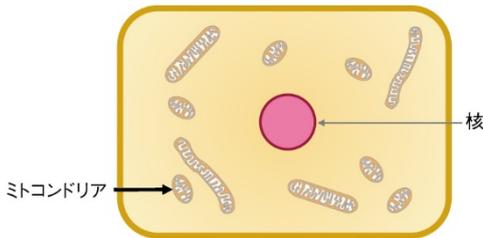
新着目

酸素を取り込み、細胞のエネルギーを作るミトコンドリアの酸素活用力が
未来のために高め続けたい肌の力「ポテンシャル」の
向上につながると考えられる

ミトコンドリアは全身の細胞内に存在する小器官です。酸素を取り込み、それをもとに細胞が働くエネルギーを作ることによって細胞機能を保つ働きがあります。酸素をもとに全身のあらゆる細胞や、肌においては表皮・真皮・皮下組織に存在する細胞を正常に機能させることができるため、「ポテンシャル」を向上させることができると考えられます。

ミトコンドリアは
肌の生きた細胞内に存在

ミトコンドリア



＜ミトコンドリアの役割＞
酸素をもとに、あらゆる細胞を
正常に機能させる

肌の各細胞の働き

- 表皮細胞：正常なターンオーバーを促す
- 線維芽細胞：コラーゲンをうみだす
- 脂肪細胞：メッシュワーク構造^{※3}を形成する

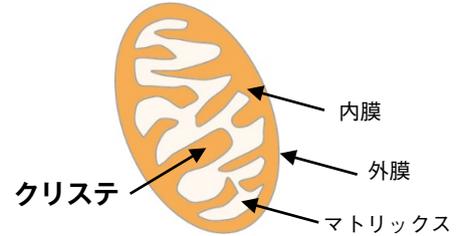
※3：コラーゲンを主成分とし、脂肪細胞の周りをネット状に取り囲む線維構造。これを「メッシュワーク構造」と名づけました。

新着目

ミトコンドリアによる酸素活用力のカギ「クリステ」

ミトコンドリアは内膜と外膜という二重の脂質膜からなり、内膜は酸素を使ってエネルギーを作る働きを担います。内膜が折りたたまれた構造はクリステと呼ばれ、折りたたみ構造を取ることでエネルギーを作る場をたくさん確保していると考えられています。

クリステは酸素活用の場



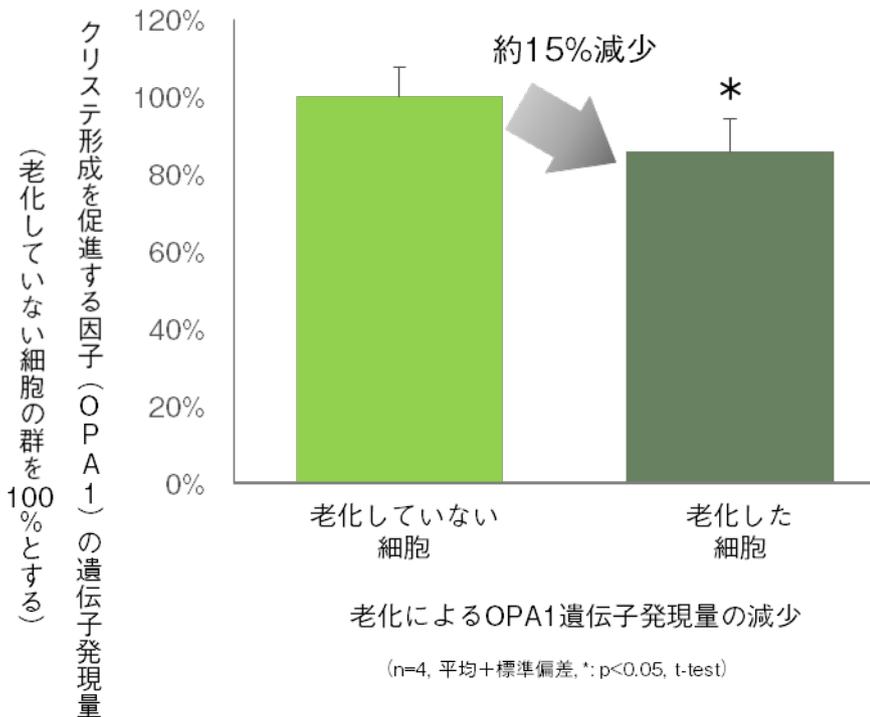
ミトコンドリアの概略図

新発見

「クリステ」を形成させる因子（OPA1遺伝子）の発現量が老化で減少することでミトコンドリアのエネルギー産生力が低下し、細胞の機能低下を引き起こすと考えられる

老化させた線維芽細胞で、クリステ形成促進因子（OPA1遺伝子）の発現量を調べたところ、老化していない細胞に比べて減っていることが分かりました。このことにより、酸素活用の場であるクリステが影響を受け、ミトコンドリアの酸素をもとにエネルギーを産生する力が低下し、肌の表皮・真皮・皮下組織に存在する細胞の機能低下を引き起こしてしまうと考えられます。

細胞が老化するとクリステを形成させる因子が減少



APEX

【製品特長】

つるんとふっくらした肌をサポートする成分

NEW

保湿成分「ホップエキスMP」

- 肌のハリ感をサポート：保湿成分「シモツケソウエキス」、「マコンブエキス」、「ショウキョウチンキエキス」、「セイヨウニワトコエキス」、「セイヨウハッカ葉エキス」を配合。
- 角層の保護をサポート：ポーラオリジナル保湿成分「バイタルポリマー」を配合。

つるんとふっくらした肌に着目した処方設計

NEW

温室ベール処方を採用

【特長1】 肌にじゅわっとなじむ「モイストベルベットオイル※1」を配合

肌になじみやすいオイルでやわらかな肌を目指す。

【特長2】 保湿成分にフタをする「ソリッドオイル※2」を配合

肌の温度付近で溶けづらく保湿成分やエモリエントオイルにフタをし、マスクの密着感を高める。

【特長3】 夜用マスクに嬉しいつるつる膜「ウォーターリングポリマー※3」を配合

コクのあるモイストベルベットオイルを肌にのせながらも水を抱えるつるつる膜でベタつきのない心地よい仕上りに。

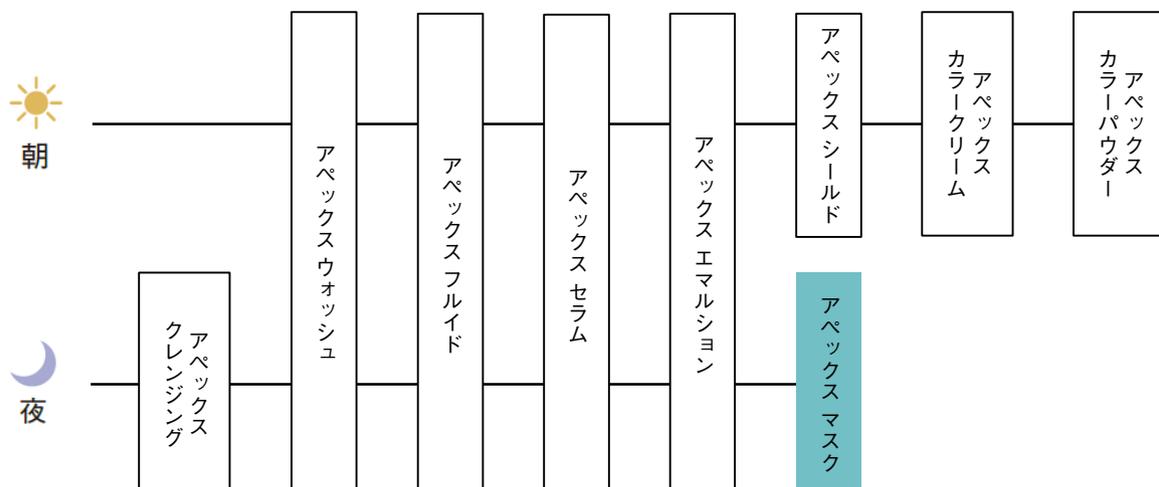
※1：ダイマージリノール酸ダイマージリノレイル、トリポリヒドロキシステアリン酸ジペンタエリスリチル ※2：パルミチン酸セチル
※3：アクリル酸Naグラフトデンプン

使用方法とお手入れステップ

使用方法

毎晩、スキンケアの最後に使用します。大き目の真珠2粒位を手にとって、額、鼻、両頬、あごの5点に置き、内から外へやさしくなじませます。最後に、下から上に、手のひら全体で包み込むようになじませてください。ふき取り・洗い流しは不要です。肌状態や季節に合わせ、使用量を調整してください。

使用ステップ



POLA

APEX

主な配合成分

配合目的	配合成分	全成分表示名称
保湿成分	ホップエキスMP	ホップエキス
	シモツケソウエキス	セイヨウナツユキソウ花エキス
	マコンブエキス	マコンブエキス
	ショウキョウチンキエキス	ショウガ根エキス
	セイヨウニワトコエキス	セイヨウニワトコ花エキス
	セイヨウハッカ葉エキス	セイヨウハッカ葉エキス
	バナバエキス	オオバナサルスベリ葉エキス
	バイタルポリマー※	ポリメタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン
	ブクリョウエキス	ブクリョウエキス
	モイストベルベットオイル	ダイマージリノール酸ダイマージリノレイル、トリポリヒドロキシステアリン酸ジペンタエリスリチル
	ソリッドオイル	パルミチン酸セチル
	ウォータリングポリマー	アクリル酸Naグラフトデンプン

※：ポーラオリジナル複合成分またはポーラオリジナル成分。



FAIRY JAPAN
POLA

ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。

POLA

862万通りのパーソナルな商品設計

アベックスは、一人ひとりの分析結果に基づき、お住まいの地域における気象情報を取り入れながら重視すべきケアを一つずつ設計します。提案するケアのパターンは862万通りになります。

肌分析画面

コンディション

形・色

ハリ
毛穴

ゆらぎ

敏感

2つの形状サイン「ハリ」「毛穴」と2つの色調サイン「シミ」「くすみ」から、今またはこれから起こりやすいトラブルのケアタイプを決定します。

ポテンシャル

うるおい

5, 2

皮脂 水分

肌3層の力

表皮 4

真皮 5

皮下組織 4

肌の水分量と皮脂量から、うるおいバランスを決定します。

「表皮」「真皮」「皮下組織」から各層のレベルに応じてケアタイプを決定します。

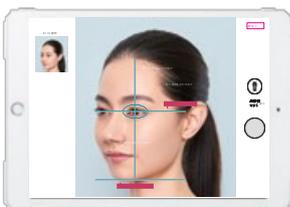
AIと肌のビッグデータを活用したAPEX独自の肌分析

ポテンシャル分析

アベックスでは、肌を動かしている動画から、新たに開発した独自の分析技術によって、業界で初めて※1店頭でも簡便かつ高精度に、肌深部の状態を分析することに成功しました。計14秒の動画から、170万個以上の特徴量※2を抽出、AI技術（機械学習法）を活用して構築した推定式を用い、表皮・真皮・皮下組織の各層の状態を分析。これら3つの肌状態を知ることによって、表皮・真皮・皮下組織が、この先きちんと機能を発揮できるかどうかを予測します。

※1：ポーラ調べ 2019年2月末現在 ※2：特徴を表す要素を数値化したもの

①動画から顔の位置情報や肌の動きを正確にキャッチ



②14秒の撮影動画から170万個以上の特徴量を正確に抽出して分析



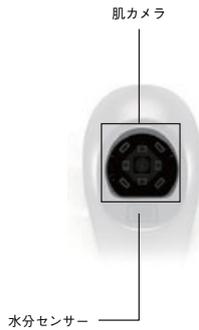
APEX

コンディション分析

コンディション分析では、水分センサーや肌カメラによる撮影画像、プロファイリングデータ、これまで蓄積してきた約1,910万件※1の肌のビッグデータから得たノウハウを活用して、今の肌状態を視覚化します。

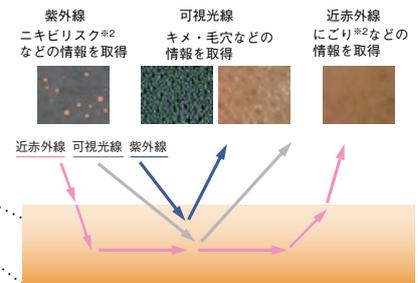
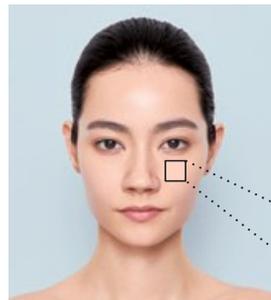


水分センサー搭載の肌カメラ
※ソニー社製カメラを使用しています。



多彩な光源での高感度撮影による多様な情報取得
測定光源に紫外線、可視光線、近赤外線^{※2}の3つの波長を使用することで、肌の表面から内部までの多様な情報を一つのカメラで取得しています。

※これらの測定光源は人体に影響を与えない、ごく微弱なものです。



※1：2021年1月現在 ※2：ポーラ独自のアルゴリズムで定義

【コンディション分析で推測できること】

